

# きらめくビーズの世界展

～ビーズが織りなす英国の香り～

ハンドクラフトの盛んな国「英国」に注目が集まっています。そこで今回は、英国伝統の刺繍やレースのご紹介、昨年4月に行われたロイヤルウェディングを祝した作品のコーナー、そして、どちらも150周年を迎えた英国の生地と壁紙ブランド[Sanderson]とウィリアム・モリスが興した[MORRIS&Co.(モリス商会)]の生地を使ったクリエイターの新作が優美な空間で登場。さらに、30余名が英国をテーマに新作を発表。併設の販売コーナーでは、ビーズアクセサリーやパーツ、日替わりでワークショップも開催いたします。伝統と新たな感性の融合をお楽しみください。

●2月2日[木]→2月8日[水] ●さっぽろ東急百貨店 9階催物場

[10時～20時、最終日2月8日[水]は17時にて閉場] ※ご入場は閉場30分前まで

入場料：一般：500円(税込)、高校生以下無料

TOP&cutQカード、お得意様カード、東急ファミリーカード会員様はカードのご提示でご本人様のみ無料。

主催：読売新聞社 後援：サンダーソン社(Sanderson, MORRIS & Co.) 協力：英国王立刺繍学校、スワロフスキー・ジャパン株式会社、トーヨー株式会社、株式会社MIYUKI, Florever 特別協力：マナトレーディング株式会社、文化服装学院

制作：左下：二村恵美 右上：レンミッコ 撮影：廣瀬孝博

気品香る、クラシカルな美。



## BEADWORK EXHIBITION 2012



### ウィリアム・モリス(1834～1896)

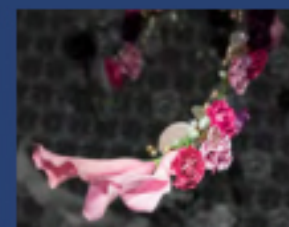
英国の思想家、詩人で、近代デザイン史上に大きな影響を与えたウィリアム・モリス。1880年代にはモリス商会と同じ理念を持つ工房やアトリエが多く生まれ、彼らの運動は「アーツ・アンド・クラフツ運動」と呼ばれるようになりました。自然の樹木や草花などをモチーフにしたテキスタイルデザインは、1世紀以上を経た今日でも新鮮で、世界中のファンに愛され続けています。



英国王立刺繍学校「ジャコビアン刺繍」

### 英国王立刺繍学校

1872年の創立以来、手刺繍の伝統技術を保存・継承してきた英国王立刺繍学校。その所蔵品の中から、インドの交易を通じインド更紗のデザインの影響を受け17世紀に流行した伝統のジャコビアン刺繍を展示いたします。



加山忠則「ビジュールヴィクトリア」

### ヴィクトリア時代から着想

英国史上最も華やかな時代だったと言われる1837年から1901年ヴィクトリア女王が統治したヴィクトリア時代から着想を得た作品たちが並びます。